

## Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第3号 (2017年5月20日発行)

4月に開催されたマスターズ世界選手権で、M75 出場の尾上俊雄さんがスプリント種目で見事優勝しました。マスターズでの世界チャンピオンは昨年の高橋厚さんと2年連続となります。

### ●本号の内容

- ・ワールドマスターズゲームズ (WMOC2017) で2人のメダリスト誕生!
- ・第43回全日本オリエンテーリング大会
- ・全日本前日フォーラム& 全日本大会前日祭 (O-Forum) のご案内
- ・理事会報告と総会予告
- ・2017年日本代表選手の選考について
- ・地域活性化に向けて
- ・これからの講習会等

### ●ワールドマスターズゲームズ (WMOC2017) で2人のメダリスト誕生! (業務執行理事: 平島俊次)

4月21日~4月30日に New Zealand の Auckland で行われたワールドマスターズゲームズ (WMG) 2017 で尾上俊雄さん (兵庫県) がスプリント競技 M75 で見事優勝され、小嶋裕さん (大阪府) も同じスプリント競技 M85 で3位となりました。今回はワールドマスターズオリエンテーリングチャンピオンシップ (WMOC) も兼ねていましたので尾上さんはマスターズ M75 の世界チャンピオンとなります。昨年 M85 の高橋さんに続いての快挙です。尾上さん、小嶋さんおめでとうございます。

WMG ではオリエンテーリングがコア競技となっていて毎回開催されています。今回は40か国から1,744名の参加があり、日本からは49名の参加でした。主な参加国では、Sweden からが352名と最も多く、Finland から240名と遠く北欧からも多くの参加があり、地元 New Zealand から175名、お隣 Australia から205名の参加がありました。表彰台には北欧より Australia の選手が多く上がりました。

次回の WMG は2021年に関西で行われます。クラスは M35 から上限なしです。皆さん、今から準備してふるって参加してください。そして地の利を生かして多くのメダリストが誕生することを願っています。



(左写真は M75 優勝の尾上俊雄選手 (左から3人目) 右写真は M85 3位の小嶋選手。一番右)

●第43回全日本オリエンテーリング大会（業務執行理事：木村佳司）

6月18日（日）、矢板中学校（栃木県矢板市）を会場に全日本オリエンテーリング大会が開催されます。webサイト：<http://www.orienteering.or.jp/joc/2017/>。エントリーは2017年5月22日まで。お待ちしております。JOY（Japan-O-Entry）からもクレジットカードでエントリーできます。  
<https://japan-o-entry.com/event/view/48>

【本大会の特徴1】

全日本大会は今回より都道府県協会の持ち回り開催ではなく、JOA管理による開催となりました。開催地の決定やテレインコントロール、そして大会の実施は、JOA内の常設実行委員会が指名する大会プロデューサーによって進められてゆきます。

【本大会の特徴2】

今回の全日本大会運営は、当代最高の人材を揃えました。コースプランナー：吉田勉、地図作成：西村徳真、計測システム：大場隆夫。

今まで主管していた都道府県協会の枠にとらわれずに人を集めて皆さんの参加をお待ちしています。

【本大会の特徴3】

今回の全日本大会をきっかけに、学生選手権大会（インカレ）とJOA公認大会との間で相互資格交流が始まります。

インカレロングへの選手権クラス出場権：全日本大会（ロング）21E出場資格を得たものは、インカレロングセレクションに出場を免除され、別枠でインカレロング選手権クラスに出場できる。（2018年から当面）

全日本大会、JOA公認大会への出場権：

インカレロング選手権6位以内 → 次回全日本大会21E出場権

インカレロング男子選手権15位以内 → 公認大会Eクラス出場権（当該年度、および翌年）

インカレロング女子選手権10位以内 → 公認大会Eクラス出場権（当該年度、および翌年）

インカレミドル選手権6位以内 → 公認大会Eクラス出場権（当該年度、および翌年）

【本大会の特徴4】

Bクラスの充実：M21Bは教本レベル4、ウィニング60分設定。選手登録なしのクラスでも充実したコースを提供します。選手登録が間に合わなかったかたでも、この場で競い合ってください。

●全日本前日フォーラム&全日本大会前日祭（O-Forum）のご案内（業務執行理事：木村佳司）

日時：2017年6月17日（土）13:00-

場所：矢板文化会館小ホール（栃木県矢板市）

（JR東北本線「矢板駅」下車、徒歩約10分）（駐車場あり）

13:00-16:00 O-Forum（有料シンポジウム）

16:00-19:00 全日本大会前夜祭（入場自由・参加費無料）

【O-Forum2017】 2017年6月17日（土）13:00-16:00

場所：矢板文化会館小ホール（栃木県矢板市）

(JR 東北本線「矢板駅」下車、徒歩約 10 分) (駐車場あり)

テーマ：今後 50 年のオリエンテーリングと JOA のあるべき姿

参加料：一般¥1,000 / 学生¥500

タイムテーブル

12:30 受付開始

13:00 ～16:00 講演とパネル討議

(講演予定者：田島利佳、西村徳真、藤島由宇、木村佳司、小泉知貴)

参加募集人員：100 名 (先着)

申込締切：2017 年 6 月 5 日 (月)

(氏名) (電子メールアドレス) を以下の申込先に電子メールで連絡ください。

申込先：日本オリエンテーリング協会事務局 [entry@orienteering.or.jp](mailto:entry@orienteering.or.jp)

問合先：木村佳司 [kimura@orienteering.com](mailto:kimura@orienteering.com)

その他

日本オリエンテーリング協会では、2017 年 3 月 5 日にオリエンテーリング日本導入 50 周年事業としてシンポジウム「地図を手に明日へと駆ける」を開催しました。このシンポジウムで今後のオリエンテーリングと JOA のあるべき姿についてパネラーの皆さんが語られましたが、まだまだ語り足りないほどの内容でした。そこでこのテーマでフォーラムを行います。JOA オフィシャルスポンサーを本フォーラムにご招待いたします。

【全日本大会前夜祭 -みんなで一緒に Fight!!Night!!】

日時：2017 年 6 月 17 日 (土) 16:00-19:00

主催：ソフィア

場所：矢板文化会館小ホール (栃木県矢板市) (O-forum と同じ)

内容：オリエンテーリング関係者、地元矢板市関係者との交流会

入場自由 (参加費無料)

16:00 ～19:00 歓迎の挨拶、生バンド演奏会・剣舞・日本舞踊・ダンス、ダンスタイム・歓談タイムなど

●理事会報告と総会予告 (副会長：村越真)

5 月 13 日に第 14 回理事会が開催されました。審議事項は総会に提案する決算書と事業報告の他、以下の内容でした。また報告事項、討議事項 (決議をしない今後の施策等についての議論) は、以下のとおりです。なお第五期の社員総会は 6 月 10 日に開催されます。

審議事項

1. 決算書と事業報告
2. 次期の学識理事の選考

3. 基本財産運用規程
4. 会員支援に関する規程
5. 2020年スキー0学生選手権の開催について

#### 報告事項

1. 各業務執行理事の報告
2. 国際委員会と WMG2021 対応
3. 第 43 回全日本大会の年齢算定基準について

#### 討議事項

1. 来期の事業方針
2. ナヴィゲーションインストラクター規定
3. 表彰事業について

#### ●2017年日本代表選手の選考について（業務執行理事：藤井範久）

2017年4月8日、静岡県「富士こどもの国」でフット0世界選手権大会スプリント種目の代表選考会、9日静岡県・朝霧高原「上井出財産区」で世界選手権大会フォレスト種目とジュニア世界選手権大会の代表選考会が行われました。また同日9日には、フット0の代表選考会に引き続き「上井出財産区」において MTBO の代表選考会も開催されました。トレイル0の世界選手権大会の代表は、2016年10月の全日本トレイル0選手権大会をはじめとする選手選考対象大会（3大会）の成績をもとにして、代表選手が決定しました。

以下が、2017年日本代表選手です。

#### ◎フット0世界選手権大会（6月30日～7月7日、エストニア・タルトゥ）

男子：尾崎弘和（トータス）、上島浩平（KOLC）、谷川友太（OLCルーパー）、松澤俊行（静岡県協会）、松下睦生（京都 OLC）

女子：稲毛日菜子（杏友会）小野澤清楓（群馬大学、入間 OLC、前橋 OLC）勝山佳恵（茨城大学）宮川早穂（トータス）柳川 梓（京葉 OL クラブ）

#### ◎フット0ジュニア世界選手権大会（7月9日～16日、フィンランド・タンペレ）

男子：稲森 剛（KOLC）、岩井龍之介（京都大学オリエンテーリングクラブ）、上野康平（東京工業大学 OLT）、椎名晃丈（OLC 東海）、新田見優輝（東京大学 OLK）、森清星也（東海高校）

女子：、稲垣秀奈美（千葉大学オリエンテーリングクラブ）、河村優花（名古屋大学オリエンテーリングクラブ）、小竹佳穂（筑波大学オリエンテーリング部）、高橋ひなの（東北大学オリエンテーリングクラブ）、増澤すず（筑波大学オリエンテーリング部）、宮本和奏（筑波大学オリエンテーリング部）

#### ◎トレイル0世界選手権大会（7月10～15日、リトアニア・ビルストナス）

##### オープンクラス

岩田健太郎（杏友会）、小泉辰喜（東京 OL クラブ）、荒井正敏（多摩 OL）、田代雅之（静岡 OLC）、木村治雄（入間市 OLC）、大西正倫（東大 OLC）

##### パラリンピッククラス

高柳宣幸（港南 OLC）

#### ◎MTBO世界選手権大会（8月19～27日、リトアニア・ビィリニュス）

羽鳥 和重（川口 OLC）、松盛 浩典（兵庫県）、加納 尚子（朱雀 OK）、森 美穂子（埼玉県）

なお、第1回大会で多くの金メダルを獲得したアジアジュニア・ユース選手権大会の第2回大会は、中国・内モンゴル自治区において8月20～24日の日程で開催されることになった。日本代表選手の選考については、6月18日開催の全日本大会（栃木県・矢板市）で行うことを予定しているが、詳細は近日中に公表予定である。

#### ●地域活性化に向けて（地域活性化委員会委員長・理事：新帯亮）

オリエンテーリングが全国組織として活動していく上で、短期的な最重要であった財政面に目途がつつきつつあり、今年度からは長期的な最重要課題である競技人口の減少をいかに食い止めるかに取り組んでいかなければなりません。その中核になるのは地域組織の活性化にあります、それは危機的状況にあります。

そもそも協会としての活動がない都道府県もありますが、このままでは協会としての活動が維持できない地域も多数存在します。このため、一般的な普及活動ができないのはもちろんのこと、学生時代にオリエンテーリングを始めた方や昔は大会に出ていた方の、地域の受け皿がない状態です。全国隔々のオリエンティアにコンタクトすらできず、オリエンテーリングから去っていく、いわば「出血」が続いている病状ともいえるのではないのでしょうか？

昨年度、地域活性化、具体的には会員（都道府県協会）の活動を支援する活動に対して、全国の公認大会の支援金や、組織育成費の廃止など財政面から大幅な見直しが行われ、おかげ様で、各会員への支援金をお支払いした上でも約190万円の活動資金を得ることができました。今年度はこれを有効活用し、この病状の「治療」を始めましょう。そのために、様々な「治療法」のアイデアをお願いします。また各ブロック内での相互支援や競技や普及など他の委員会活動とも連携しなければならないと思います。そして健康な体で、オリエンテーリングをさらに強力に進めていきたいですね。

#### ●これからの講習会等

6月10-11日：インストラクタ養成講習会（主催兵庫県、兵庫県）

7月1日：コースプラン&リスクマネジメント研修会（JOA 主催、愛知県）

8月11-12日：ナビゲーションインストラクター研修会（JOA 主催、埼玉県）

（詳しくは、JOAのウェブサイト：<http://www.orienteering.or.jp/>をご覧ください）